

新 マルチスライス
CT装置のご紹介 放射線科より

平成25年7月



平成25年7月

この度当院において、最新モデルのCT装置を導入しました。お陰様で入れ替え工事も無事に終え、平成25年5月10日より稼働しております。

新しいCT (64列) の特徴

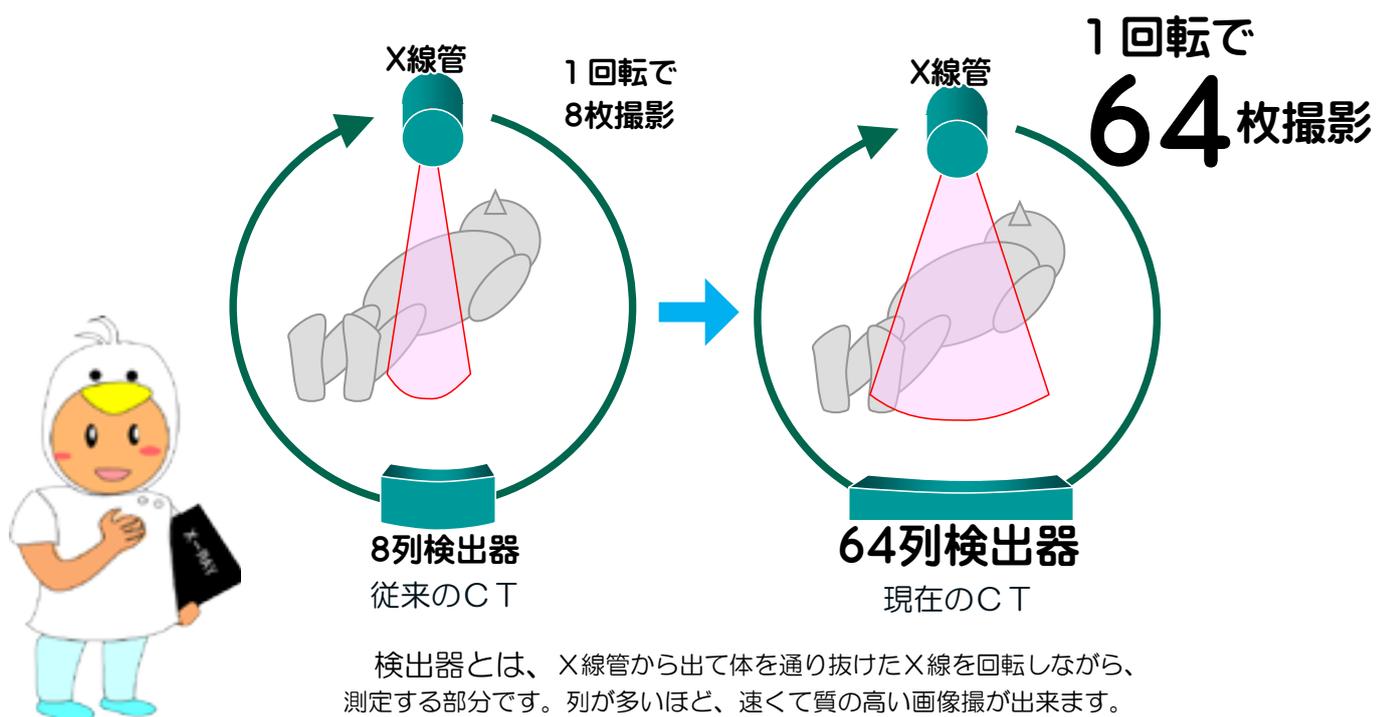
- 高速撮影が可能 (1回転で64枚撮影)
- 画質がよくなる
- 被ばく低減 (撮影時のX線の被ばくが少なくてすむ)
- 撮影の入り口が大きい (体格の大きい方でも入りやすい)
- 大腸CTが可能



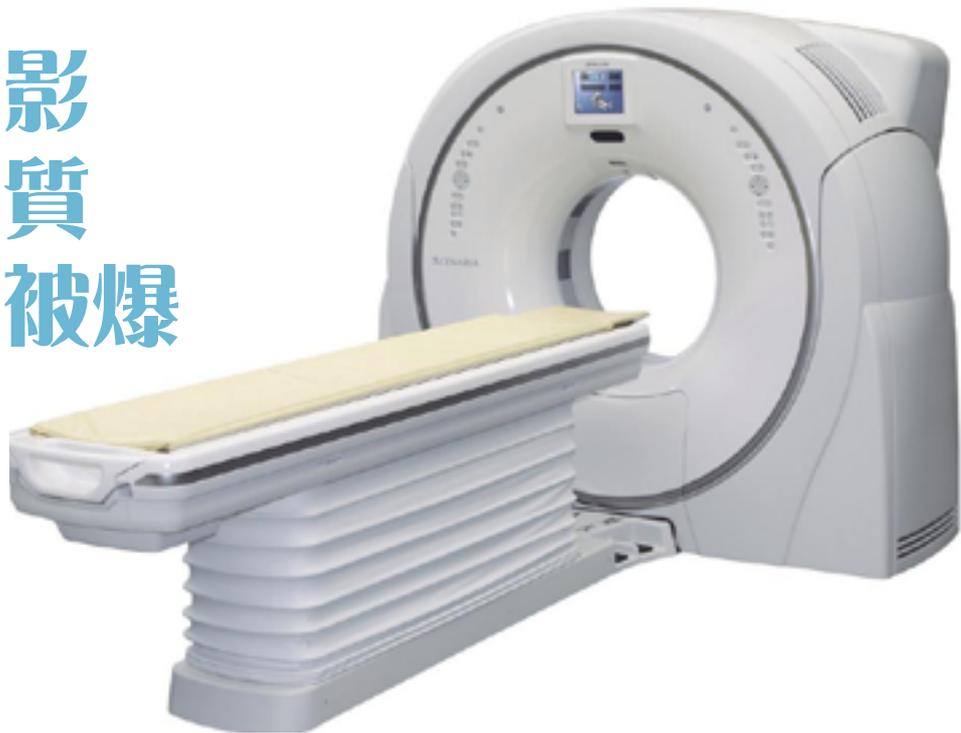
患者さんの負担が減ります

大きな特徴は、下の図のように、体を通り抜けたX線を測定する「検出器」が、今まで使用していた8列から64列となり、**測定能力がアップ**しました。

従って、以前の8列CTでは、胸部から骨盤部まで撮影すると、息止めが20～30秒と大変長く、息止めが難しい方もいらっしゃいました。64列CTですと、**約4秒**の息止めで撮影ができます。



- ① 高速撮影
- ② 高画質
- ③ 低被爆

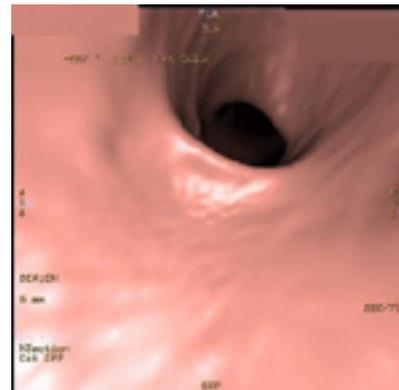
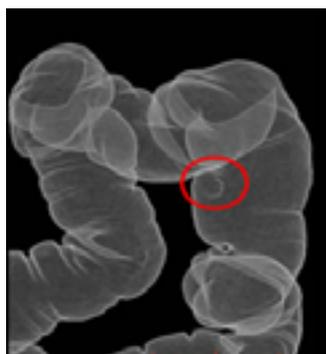
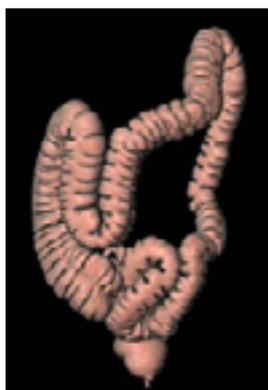


新

大腸CT検査が受けられます

大腸をガスの注入によって拡張させ、最新のマルチスライスCT装置を用いて撮影することで、内視鏡を挿入せずにCT撮影を行いコンピューター処理により、内視鏡のように腸内を観察する検査です。また、大腸の3次元画像を簡単に得ることができます。

内視鏡検診と比較して、苦痛がなくスムーズに大腸を検診する事が可能です。大腸CT検査は内視鏡検査ではひだの裏など死角がある場合がありますが、大腸CTに死角はありません。患者様の抵抗感が少なく受診率アップを期待されている新しい検査です。



	大腸CT検査	大腸内視鏡検査
長所	<ul style="list-style-type: none"> • 検査時の苦痛が少ない。 • 大腸のひだの裏側もよく見える。 • 大腸狭窄がある場合でも検査が行える。 • 検査が簡単で、約20分で終了する。 • 腫瘍があれば深さの情報わかる。 • 大腸以外の腹部情報が得られる。 	<ul style="list-style-type: none"> • ポリープがあった場合その場で切除できる。 • 平坦な腫瘍、5mm以下の小さなポリープを見つけやすい。 • 粘膜面の色の変化を観察できる。



検査時間はどれくらい？

20分くらいです

着替えなどを含め、20分程度で終了します 放射線技師A



検査料金は？

おおよそ

1割負担… 5,000円

3割負担… 11,000円 となっています。

事務



検査食はおいしい？

おいしかったです

- ・カレーライスと親子丼を食べました。量、味付け、見た目も大変良く、検査食とは思えないくらいでした。容器ごと電子レンジで温められ、手軽です。空腹感はあまりありませんでした。 看護師B



痛みはある？

- ・二酸化炭素を大腸の中に入れるため、お腹が張った感じがしました。検査中は、動くとき多少苦しくなりましたが、ひどい痛みはありませんでした。 放射線技師A
- ・腸に炭酸ガスを送り込んで、腸を膨らませるので、少しの間お腹が張り、腹痛を感じました。終了後は、お腹の膨らみはすくにとれ、楽になりましたが、ニヤニヤ感が少しの時間（4時間位）続きました。 看護師B
- ・ガスが入ってくると、便が出たくても出られないような、下腹部の痛みがありますが、我慢できる程度でした。 看護師C

検査までの流れ（主なもの）

検査前日

朝食	おかゆ又は麺類など	
昼食	検査食 「カレーライス」 「コンソメスープ」	
間食	検査食 「バナナオレ」	
夕食	検査食 「親子丼」	
間食	検査食 「ミルクココア」	
就寝前	緩下剤 10cc	

検査前日

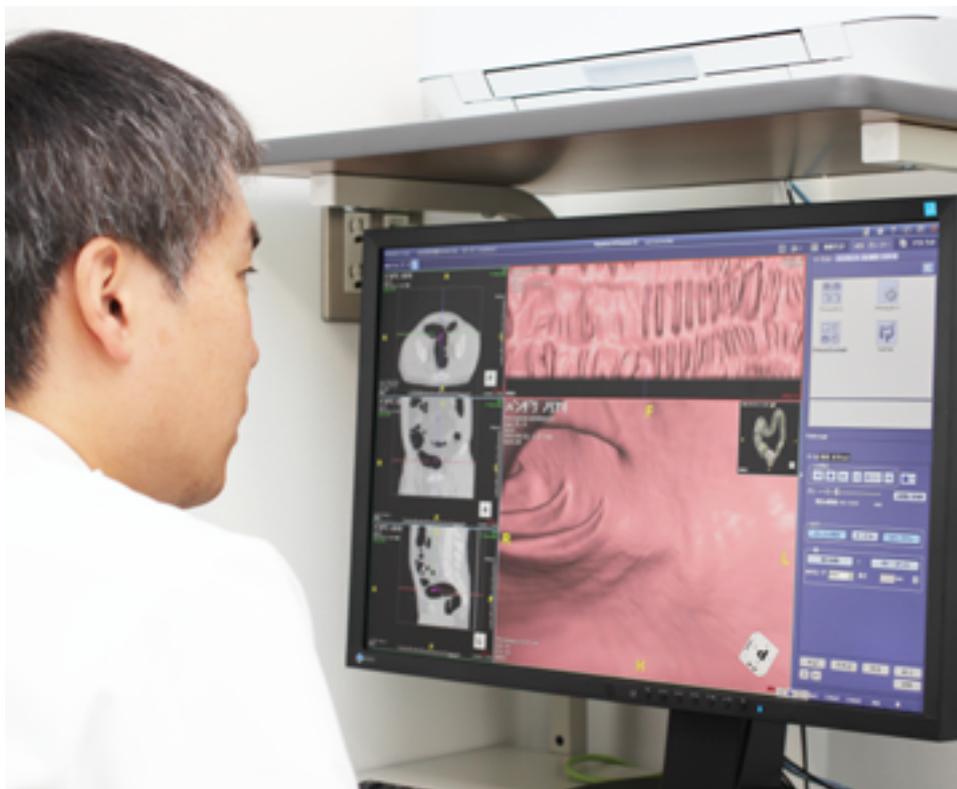
朝食	検査食 「コンソメスープ」	
	腸管洗浄剤 水に溶かして飲む	



検査を受けてみてどうでしたか？

- ・大腸内視鏡検査とくらべて、検査前の処置が大変楽でした。大腸内視鏡検査は、検査食も少なく、検査当日に2割もの下剤を飲む必要があり、大変辛かったです。大腸CTの場合、下剤の量が少なく楽でした。検査中は、内視鏡検査は、カメラを大腸の奥まで入れるので、所々痛みが生じますが、CTの場合、お腹がはっているくらいで我慢出来ないほどの痛みはなかったです。 男 放射線技師A
- ・肛門から入れる管が細く、苦痛はなかったです。検査結果については、腸全体を動画で見ることができました。また、腸を切り開いた状態の、腸の粘膜画像も見ました。大腸CTは、前処置が簡単で検査時間も短く、苦痛が少ない検査だと思います。 看護師B
- ・大腸内視鏡検査や大腸バリウム検査に比べると、水分制限がつかったです。 看護師C

今回、新しいCTの導入にあたって、スキルアップのため診療放射線技師4名、CT操作研修を、千葉県にある日立メディコ柏工場で受けて参りました。CT装置は、日々進化し、高性能な装置が開発されております。我々、診療放射線技師も撮影技術や読影力を高めるために、日々、自己研鑽しております。



みな様の健康の願いに応えるために…

患者様に信頼される放射線科を目指します。

